

令和4年度 第3回 機械流通委員会議事録

開催日時 令和4年7月6日(水) 午後2時00分から

開催場所 Zoom(Web会議システム)等

**第1号議案 電子申請システムに関する検討会に関する件**

令和4年7月1日(金)にZoom(Web会議システム)にて、他単組と進めている電子申請システムについての検討会が開催された。

**1 各地区遊商からのメリット・デメリットについて**

各地区遊商からメリット・デメリットの報告が求められ、東北遊商として下表の内容を報告した。

≪東北遊商としての電子申請システムに係わるメリット・デメリット≫

・ メリット

(1) 事務局

No.	内 容
①	電子化により、機歴システムの入力の手間が無くなり、入力ミスを防げる
②	事務局で行っている、読み込み電子化が不要になる
③	配送業者による誤配送や遅れのリスクがなくなる

(2) 組合員

No.	内 容
①	宅配にて申請している組合員のみ、日数が1日短縮されること及び発送費用が不要になる
②	コピー用紙の経費が削減される

・ デメリット(疑問点)

(1) 事務局

No.	内 容
①	申請書類を事務局側で印刷する場合、負担が大きくなる(時間、人員、コピー機、紙)
②	件数が少ない場合は良くても、多くの申請が来た場合、他の業務の作業者の印刷物、印刷中にFAXの受信が入る等の可能性もあるので工夫が必要
③	所轄が電子データ受付にならない限り、紙の印刷作業をすることになると思う
④	文字画面上でチェック作業となる場合、申請物の並びを徹底してもらう必要がある
⑤	原本提出となっている、売買確認書・移動同意書はどうするのだろうか。別に原本の提出となる場合、提出されたデータと組み合わせなければならないので、どのような方策があるのだろうか。
⑥	一件書類として、一つのデータで送信して頂かないと混乱する
⑦	申請書類及び後日書類の差し替えが必要な場合、1件書類として1から改めてデータ送信が必要になる

(2) 組合員

No.	内 容
①	設置元書類を全て電子化(PDF)し、データを書類作成システムにUPして頂かなくてはならない。1件書類として組み合わせが必須であるので注意が必要。また、各組合員で電子化(PDF)できる環境が必要になる。

・ **その他の確認事項**

No.	内 容
①	(越境書類) 越境書類のやり取り方法はどうか
②	(越境書類) 売契/同意書の運用ルールについて、承認印が必要な場合は発送でのやり取りになるのか。また使い切り原本の提出についてはどうか。
③	(後日書類) 剥離したシールを、オリジナル台帳に貼付及び交付番号を記して提出して頂いているが、上の内容を電子化(PDF)し後日書類一式と併せての送信で良いのだろうか
④	(メーカー) メーカーへの機歴連絡について、当組合においては現状 FAX での連絡がほとんどだが、印刷し FAX するのか、他のやり方があるのか
⑤	(不備扱い) 申請された書類に不備があった場合のやり取りはどうすればいいのか
⑥	(事務局側) 設備拡充(PC増設やサーバー等)の必要はあるのだろうか
⑦	(携帯端末) 現在使用している携帯電話はそのまま使用可能なのか

2 システム開発会社との打ち合わせ内容等について

中部遊商谷野副理事長から下記の報告がなされた。

《全体の報告》

No.	項 目	内 容
1	携帯端末	そのまま使用できる
2	PDF化	販社の都合はあるが対応を願いたい
3	機歴入力	手入力はなくなる
4	機歴入力方法	並べ替えは各遊商ごとで対応で解決いただく
5	交付番号	送信されたデータの順番に交付してもらう

《シーズとの打ち合わせ内容報告》

No.	項 目	内 容
1	保管・納品確認書	主基板番号手書き⇒入力内容が電子化される
2	確認証紙	(手書きであった部分)入力した部分は自動化される
3	機歴への反映	販社は入力しデータ送信⇒機歴に自動で反映される(組合は入力不要)
4	検定番号入力	要望すれば数十万程度で覚えこませることは可能
5	保存期間	期限はサーバの容量がある限りである
6	リリースまで	概ね、作成から2か月、テストで1か月
7	費用	(基本料)概算7,925,500円(税別)であるが、 皆様(各単組)からの要望を盛り込むと約1,200万円になるかと思う。 ・納期を短縮することは可能だが製作に人員を要するので増額となる。 ・1項目増やした場合約10万増。(初期製作時の場合)
8	今回の結論	永山委員長より、検討をはじめからかなり時間を要しているの、システムを導入するか否か決断すべきではと提言された。 出席された理事長より、現実の動きをみてからの提案もあったが、7月12日(火)にコスト面も含め事の当否を論ずることとなった。

※ 費用について、本日の委員会(7月6日開催、東北遊商第3回機械流通委員会)において、各単組からの要望を盛り込む総額約1,200万円とすることが了承され、次回検討会にて報告する。

《その他》

No.	項目	内容
1	スマパチ第1号機	上表の3同様、2022年11月末頃と伺っているが情報の開示がないのは何故かと思う
2	ホールコード	(九州)現在機歴管理のホールコードを用いているが、日工組は機構コードを使っているため、シーズへ機構コードにしていただくことも検討しなければならないと思う

**第2号議案 新規取扱主任者講習会に関する件**

- 1 7月度講習会へ、3社より合計6名の希望があり、7月13日(水)に「最上委員・山内委員・桜井委員」講師の基執り行う。

事務局より、予定であった2社について、見送り及び日程と折り合わず欠席となった報告がなされた。

- 2 8月度へ7月度の日程に折り合わなかった「1社・1名」(7月5日現在)の希望があり、講師として「柏木委員」を迎え、8月18日(木)に執り行う。

令和4年度

No.	開催日	開催場所	講師	販社数	受講者数	合格者数	不合格者数
1	5月16日	東北遊商会議室	柳(副)・最上	3	3	3	-
2	7月13日	東北遊商会議室	最上・山内・桜井	3	6	-	-
					9		

以上